

令和5年度鳥取県立高等学校  
入学者選抜学力検査における得点状況

鳥取県教育委員会

令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8

令和5年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 2,663人  
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去13年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

## 2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	1	0	11	5	0
3	～	4	1	4	24	3	10
5	～	6	5	4	30	23	28
7	～	8	11	9	48	44	56
9	～	10	14	19	58	81	87
11	～	12	25	28	76	120	133
13	～	14	51	49	93	143	119
15	～	16	61	52	114	162	122
17	～	18	79	78	115	147	119
19	～	20	101	83	147	203	128
21	～	22	128	105	162	158	104
23	～	24	167	136	164	162	121
25	～	26	155	155	188	163	130
27	～	28	210	176	191	131	122
29	～	30	195	191	203	160	158
31	～	32	208	192	214	156	142
33	～	34	226	227	172	157	161
35	～	36	241	215	171	126	152
37	～	38	221	229	149	140	152
39	～	40	184	230	117	127	150
41	～	42	153	190	71	110	145
43	～	44	132	161	74	67	128
45	～	46	63	87	35	44	99
47	～	48	28	36	33	24	75
49	～	50	3	7	3	7	22
受検者数		2,663	2,663	2,663	2,663	2,663	

【総得点における度数分布】

総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	0
21	～	25	1
26	～	30	3
31	～	35	4
36	～	40	6
41	～	45	15
46	～	50	10
51	～	55	25
56	～	60	28
61	～	65	30
66	～	70	30
71	～	75	39
76	～	80	51
81	～	85	62
86	～	90	73
91	～	95	64
96	～	100	80
101	～	105	58
106	～	110	81
111	～	115	86
116	～	120	111
121	～	125	87

総得点	人数		
126	～	130	99
131	～	135	99
136	～	140	97
141	～	145	101
146	～	150	91
151	～	155	100
156	～	160	104
161	～	165	82
166	～	170	84
171	～	175	96
176	～	180	96
181	～	185	107
186	～	190	80
191	～	195	88
196	～	200	91
201	～	205	83
206	～	210	75
211	～	215	66
216	～	220	32
221	～	225	26
226	～	230	15
231	～	235	7
236	～	240	0
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数		2,663	

## 令和5年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査の出題のねらいと分析

### 【 国 語 】

#### <出題のねらい>

知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

#### <分析>

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題においては、漢字の読み・書きに関する問題で正答率の低いものが見られた。
- ・記述問題（10～60字等、指定された文字数で解答するような問題）においては、昨年度に比べ、正答率はやや上昇したが、誤答率・無答率もともにやや上昇している。
- ・古文における読みの問題は正答率が低かったが、内容理解の問題は正答率が高かった。
- ・目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて理解力をみる問題においては、正答率が高かった。
- ・日頃の学習の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う言語活動を積極的に取り入れたい。
- ・また、記述問題及び作文に関しては、与えられた条件に従って、自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

### 【 社 会 】

#### <出題のねらい>

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考・判断・表現する問題を出題した。

#### <分析>

- ・基礎的・基本的な知識や概念を問う問題については正答率が高かった。
- ・一方、グラフや表から地域的特色をつかむ問題や、資料をもとに、既習の知識を活用し、思考・判断し説明する問題の正答率が低かった。
- ・地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本との結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

### 【 数 学 】

#### <出題のねらい>

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

#### <分析>

- ・基本的な計算や数値を求める問題、データの活用についての問題は正答率が高く、学習の成果が上がっている。
- ・根拠を記述する問題、図形の性質をもとに考える問題、複数の観点から発展的に思考する問題の正答率は低かった。
- ・このことから、基礎となる事項のより一層の定着を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導、様々な事象を数理的に捉え、論理的、統一的・発展的に考えさせる指導を、さらに充実させることが重要である。

## 【 理 科 】

### <出題のねらい>

基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果や資料を読み取り考察する問題を出題した。

### <分析>

- ・重要語句を問う問題は、昨年同様正答率が高かった。
- ・また、自然の事物・現象について基礎的・基本的な知識を問う問題についても正答率は高かった。
- ・しかし、実験や観察の結果をベン図やグラフに整理して表現したり、既習の知識を活用して結果を推論したりすることに課題が見られた。
- ・また、根拠を適切に示しながら、現象を論理的に説明する力にも課題が見られた。
- ・授業において、既習の知識と関連付けながら、見通しをもって観察・実験を計画、実施し、得られた結果を考察するときに、データを分析し、根拠を明らかにして説明したり、思考ツールやグラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動が求められる。
- ・科学的に探究する活動を重視した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力等の育成を目指した指導の工夫が必要である。

## 【 英 語 】

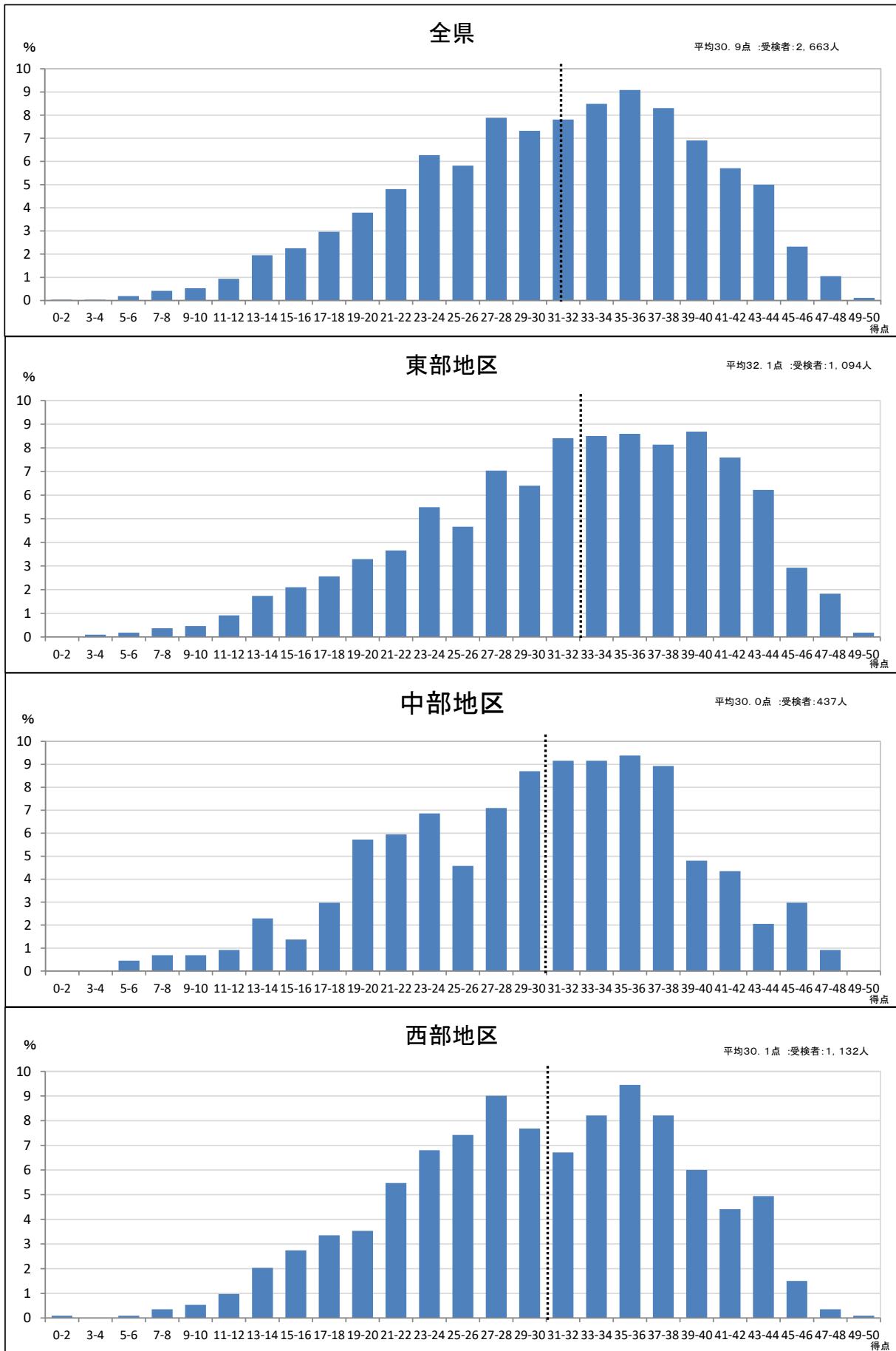
### <出題のねらい>

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

### <分析>

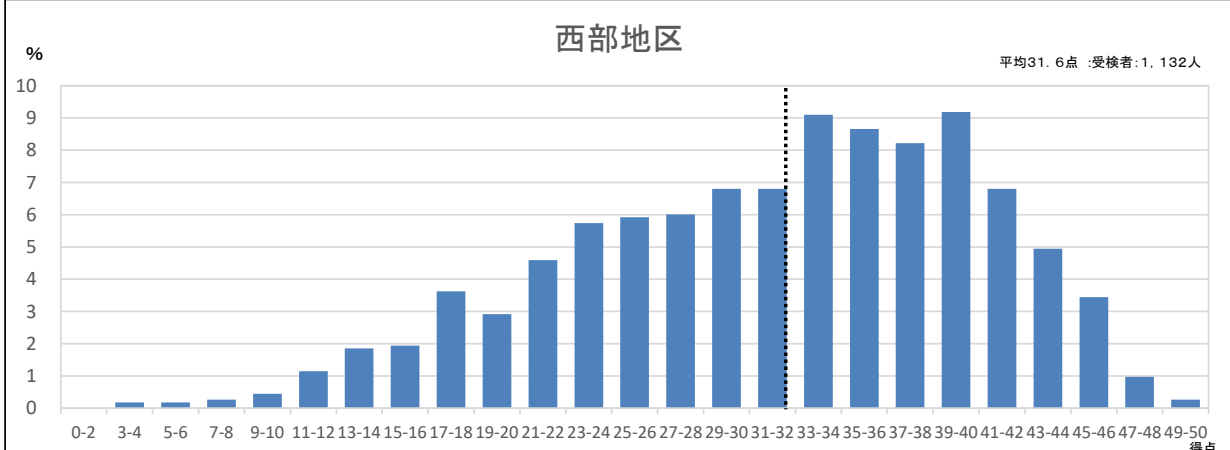
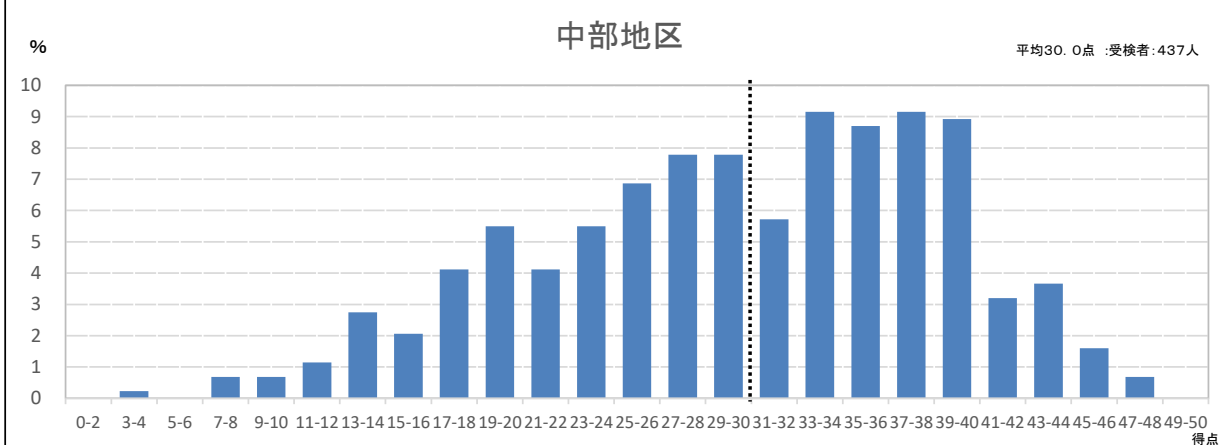
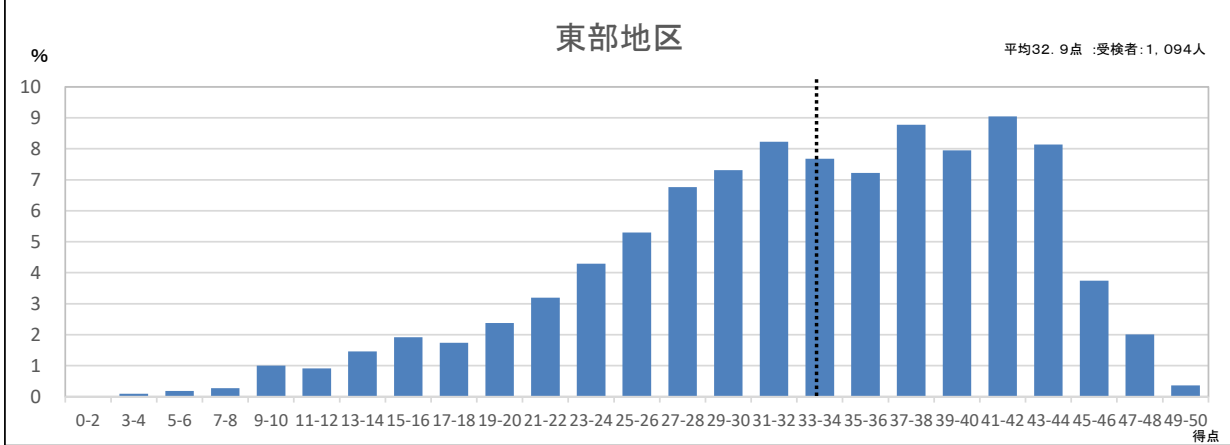
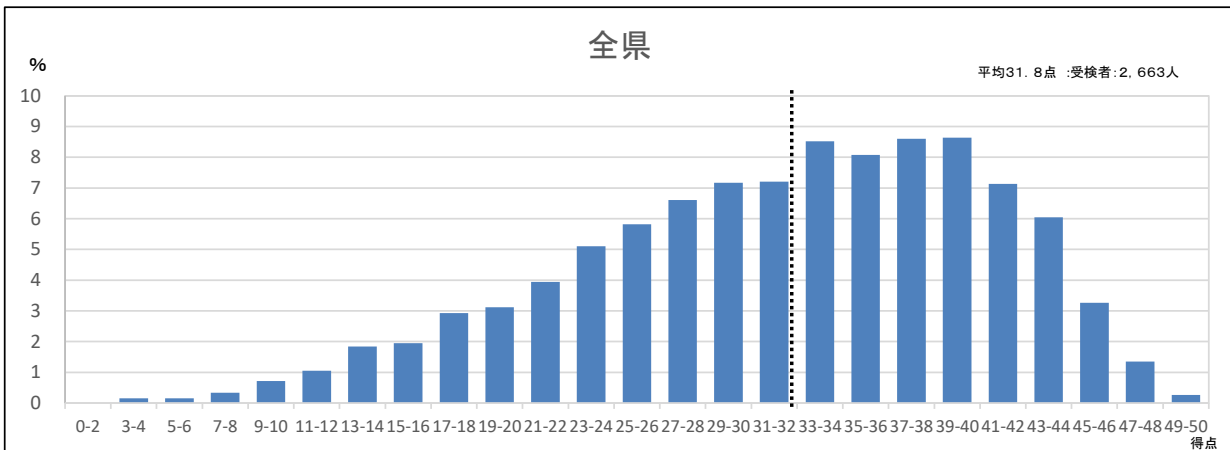
- ・文法や語彙を活用する力をみる問題や、まとまりのある文章を読んで、必要な情報を正確に読み取る力を見る問題の正答率は高かったが、聞き取った内容に適切に応答する問題や、授業で慣れ親しんだ表現を正確に書いたり、読んで理解したうえで、自分の考えを英語で書いて表現したりする問題の正答率が低かった。
- ・今後は、普段の授業において、実際のコミュニケーションを意識した場面を設定したうえで、生徒が習得した知識等を活かして思考・判断・表現しながら複数の領域を統合した言語活動に取り組む機会の充実が求められる。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



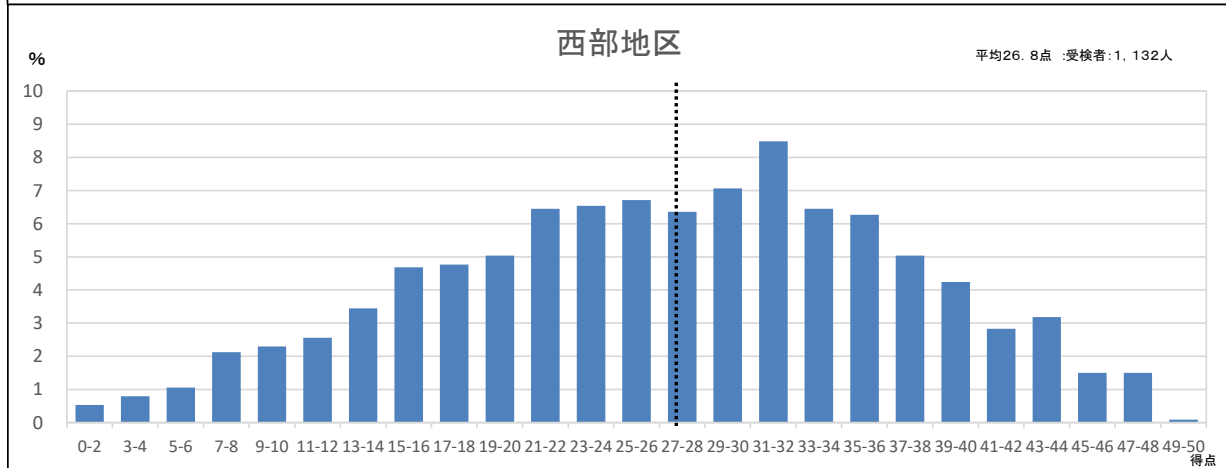
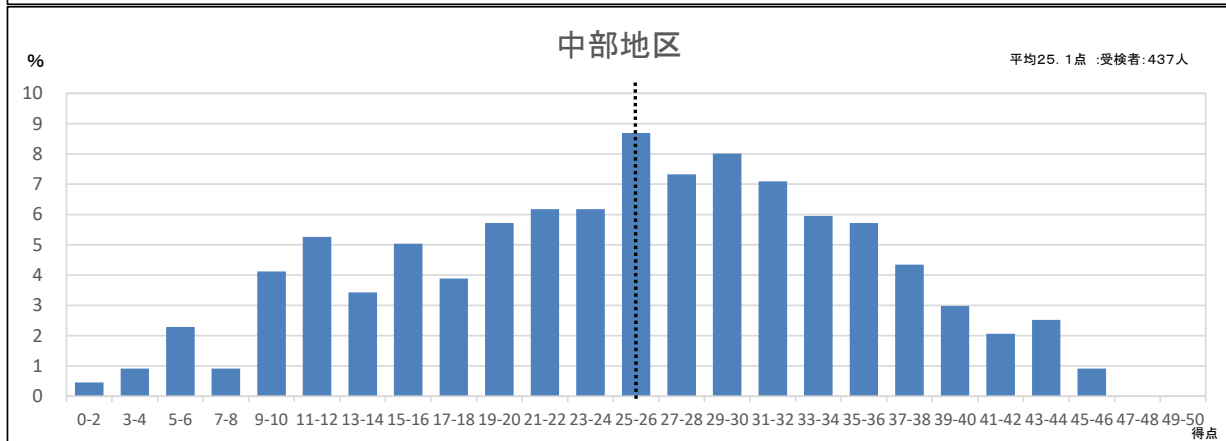
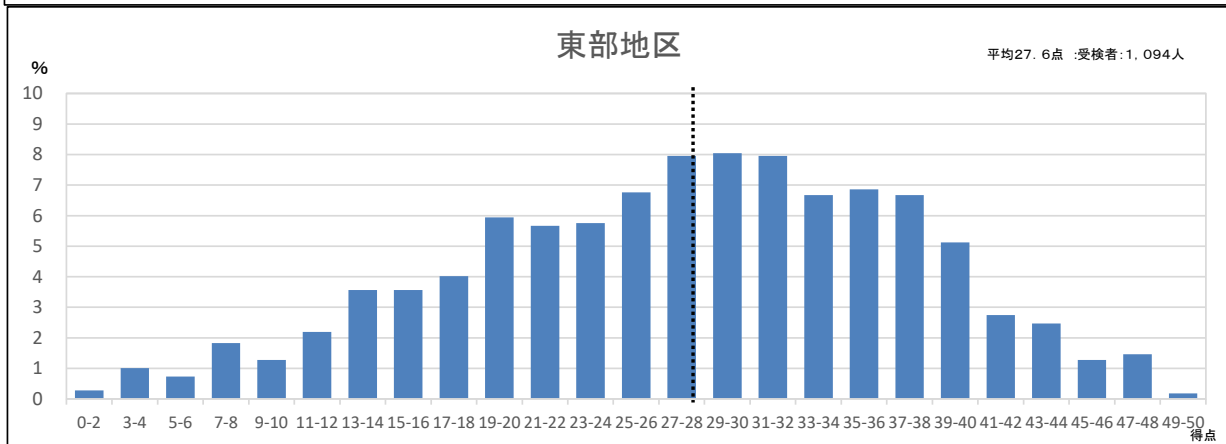
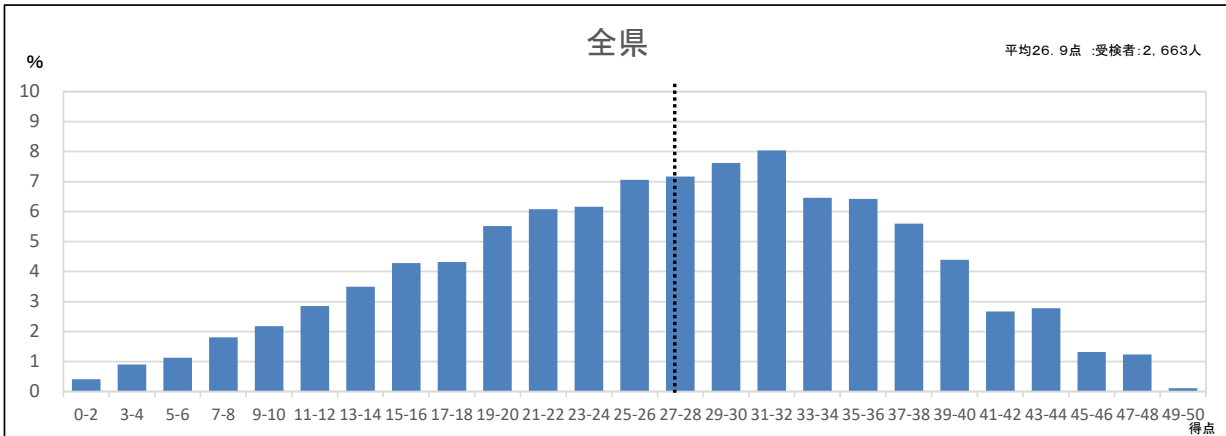
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

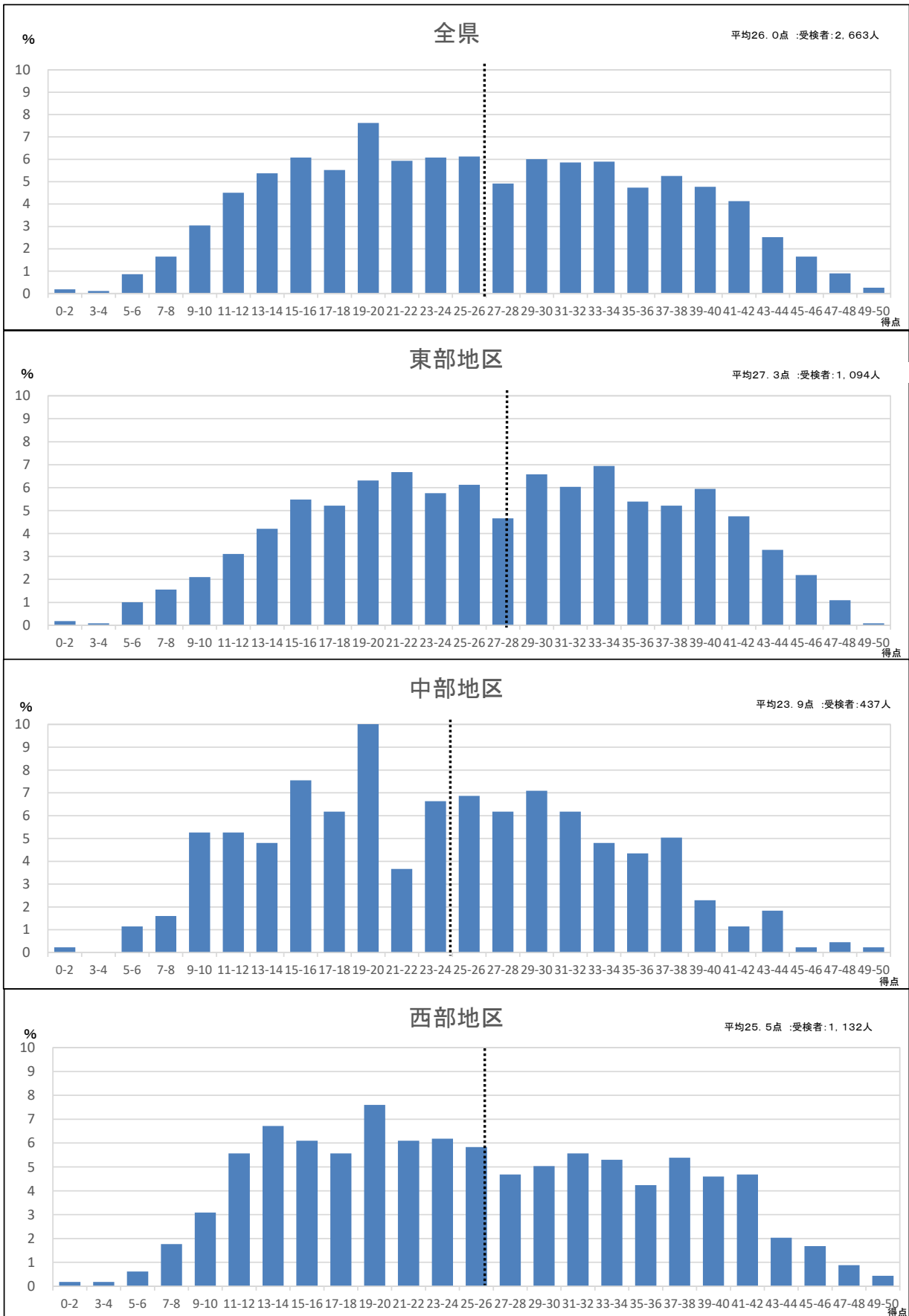
令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

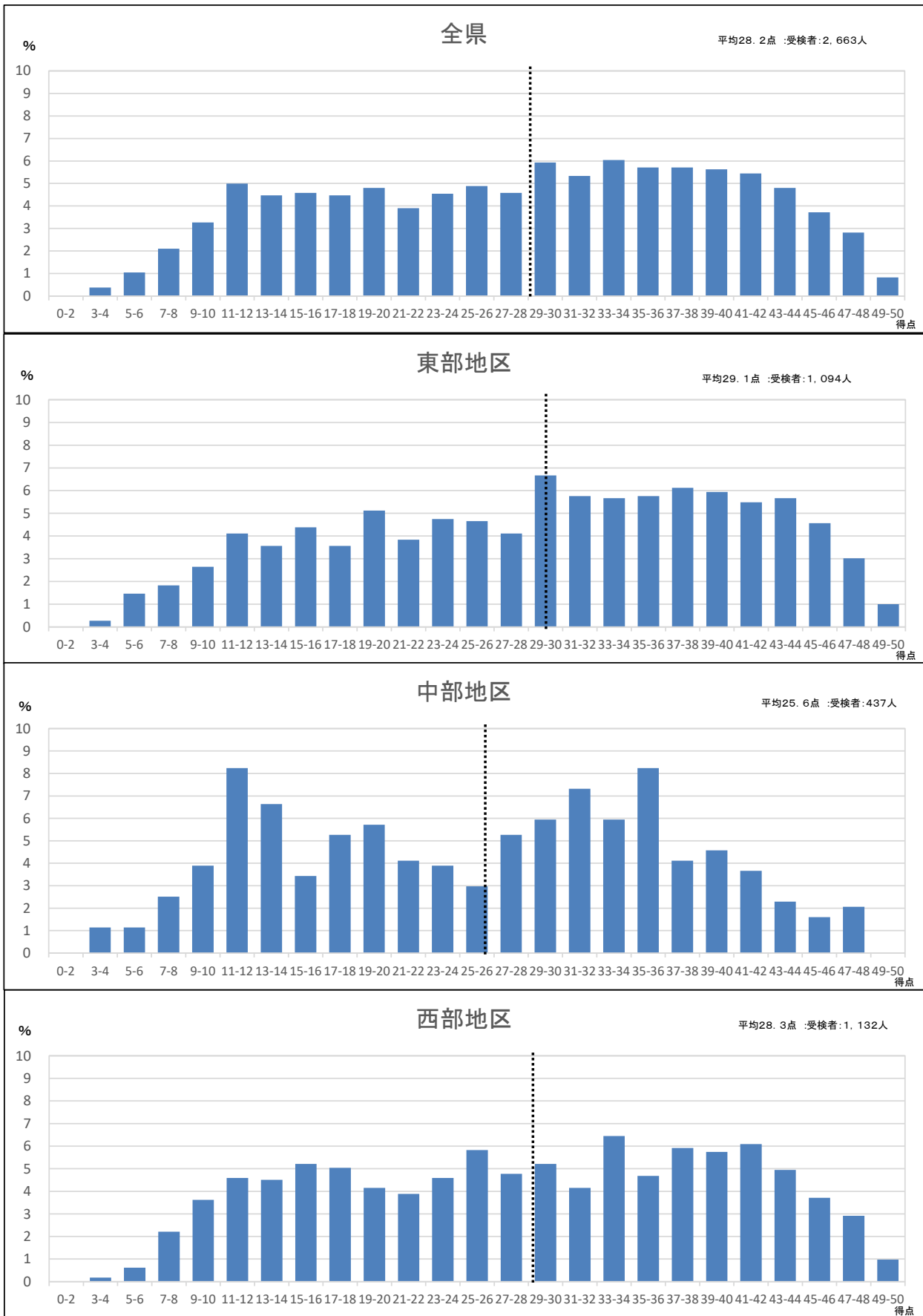


令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



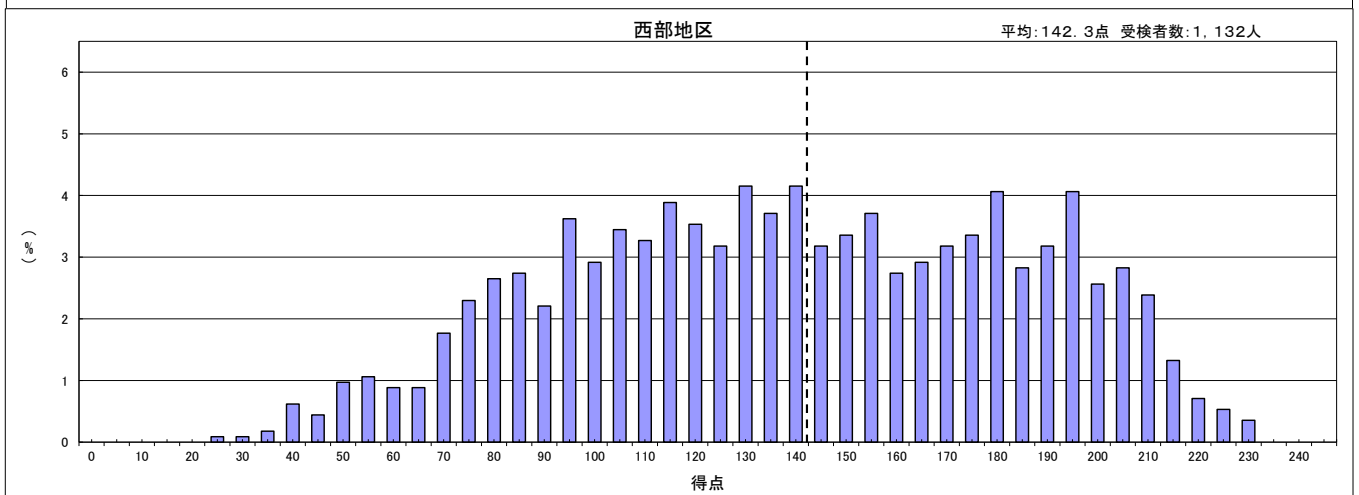
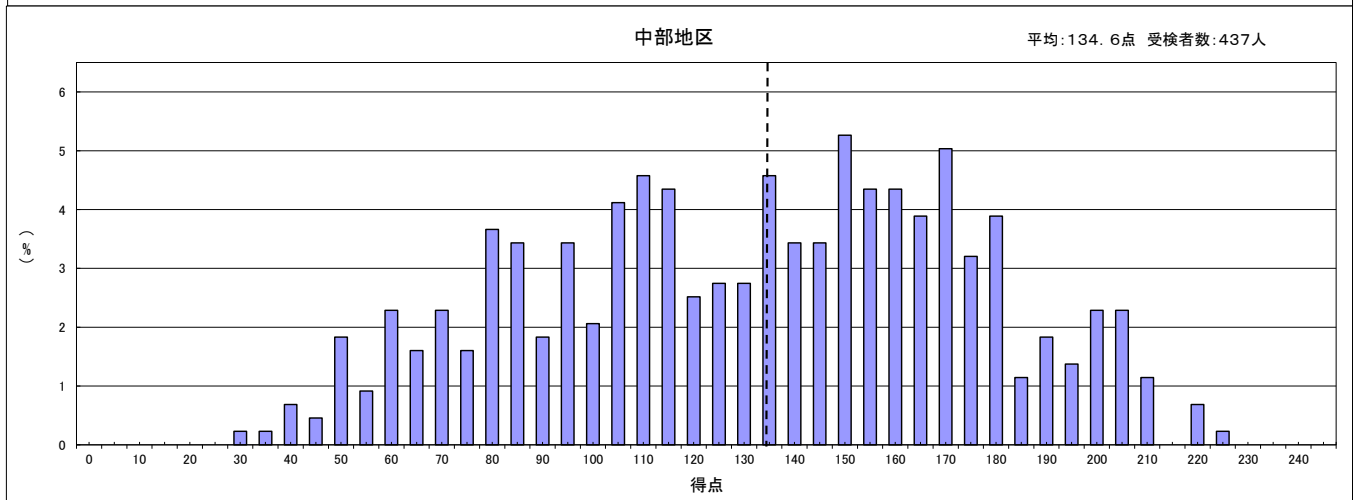
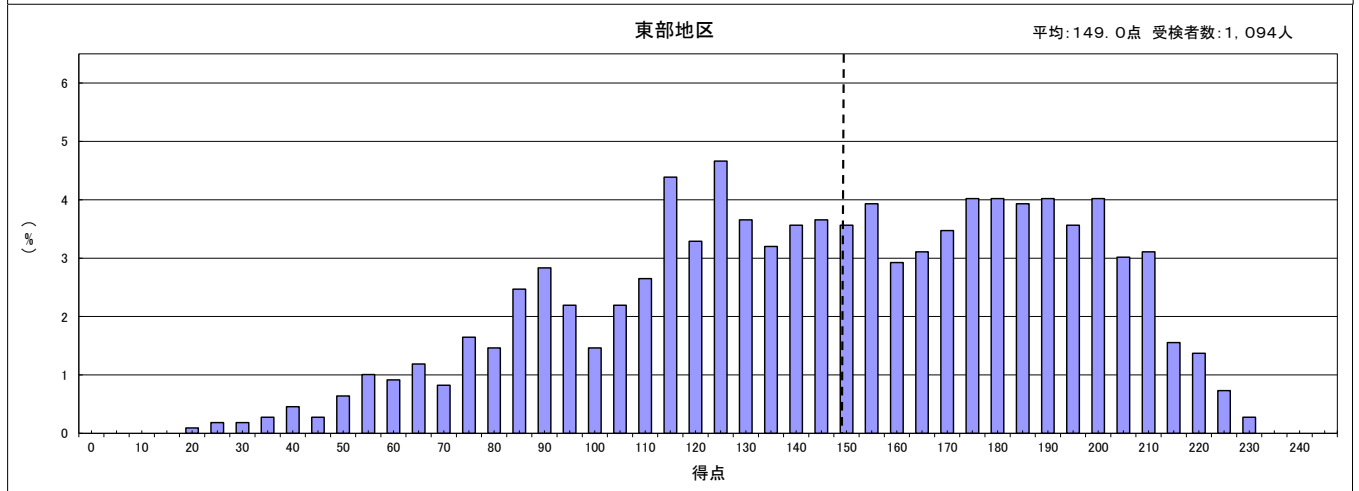
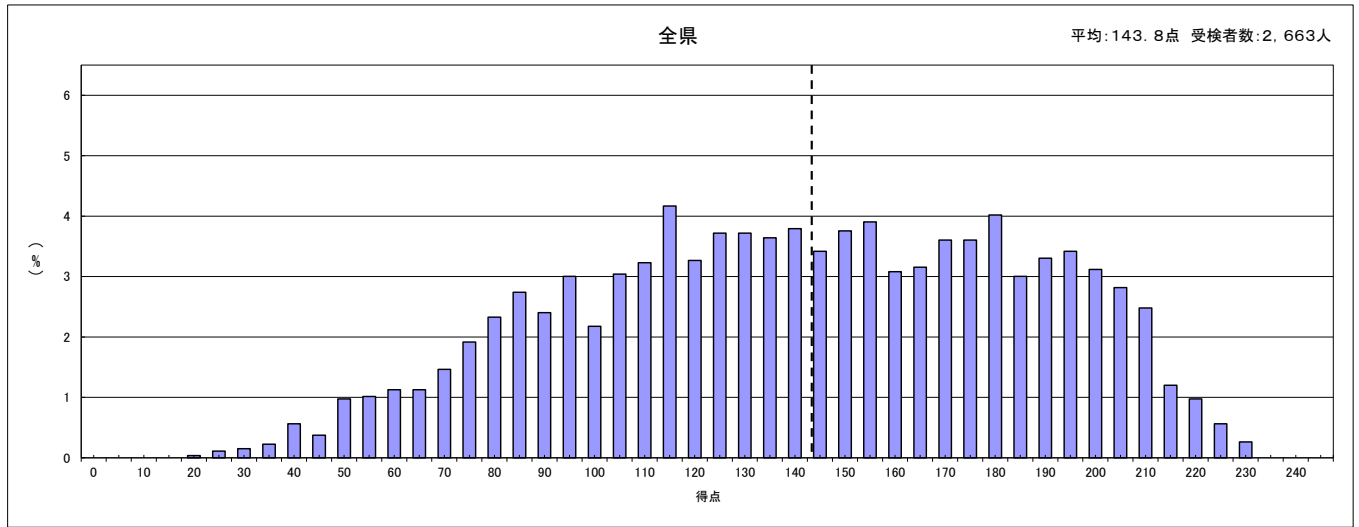
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

# 令和5年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和5年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：155）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	128	82.6%	0	0.0%	27	17.4%	0	0.0%
		(2)	漢字の読み	記述	36	23.2%	0	0.0%	110	71.0%	9	5.8%
		(3)	漢字の書き	記述	13	8.4%	0	0.0%	64	41.3%	78	50.3%
		(4)	漢字の書き	記述	113	72.9%	0	0.0%	27	17.4%	15	9.7%
	問二	書写の知識	記号	111	71.6%	0	0.0%	44	28.4%	0	0.0%	
	問三	語句の知識	記号	65	41.9%	0	0.0%	89	57.4%	1	0.6%	
	問四	文法の知識	記号	100	64.5%	0	0.0%	54	34.8%	1	0.6%	
問五	語句の知識	記号	123	79.4%	0	0.0%	32	20.6%	0	0.0%		
問題二	問一	内容の理解	記号	128	82.6%	0	0.0%	27	17.4%	0	0.0%	
	問二	内容の理解	記述	72	46.5%	4	2.6%	37	23.9%	42	27.1%	
	問三	内容の理解	記号	107	69.0%	0	0.0%	48	31.0%	0	0.0%	
	問四	語句の理解	記号	40	25.8%	0	0.0%	115	74.2%	0	0.0%	
	問五	内容の理解	記号	101	65.2%	0	0.0%	52	33.5%	2	1.3%	
	問六	内容の理解	記述	45	29.0%	34	21.9%	59	38.1%	17	11.0%	
	問七	表現の理解	記号	89	57.4%	0	0.0%	64	41.3%	2	1.3%	
問題三	問一	内容の理解	記号	145	93.5%	0	0.0%	9	5.8%	1	0.6%	
	問二	I	内容の理解	記述	149	96.1%	0	0.0%	3	1.9%	3	1.9%
		II	内容の理解	記述	134	86.5%	0	0.0%	12	7.7%	9	5.8%
	問三	語句の理解	記号	78	50.3%	0	0.0%	77	49.7%	0	0.0%	
	問四	語句の知識	記述	61	39.4%	0	0.0%	75	48.4%	19	12.3%	
	問五	内容の理解	記述	59	38.1%	32	20.6%	52	33.5%	12	7.7%	
	問六	内容の理解	記述	38	24.5%	30	19.4%	58	37.4%	29	18.7%	
問七	内容の理解	記号	128	82.6%	0	0.0%	25	16.1%	2	1.3%		
問題四	問一	古文の読み	記述	24	15.5%	0	0.0%	123	79.4%	8	5.2%	
	問二	内容の理解	記号	116	74.8%	0	0.0%	38	24.5%	1	0.6%	
	問三	内容の理解	記号	96	61.9%	0	0.0%	58	37.4%	1	0.6%	
	問四	内容の理解	記号	60	38.7%	0	0.0%	91	58.7%	4	2.6%	
問題五	問一	内容の理解	記号	133	85.8%	0	0.0%	19	12.3%	3	1.9%	
	問二	内容の理解	記号	137	88.4%	0	0.0%	15	9.7%	3	1.9%	
	問三	内容の理解	記号	148	95.5%	0	0.0%	4	2.6%	3	1.9%	
	問四	内容の理解	記述	44	28.4%	105	67.7%	0	0.0%	6	3.9%	

令和5年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】（答案数：155）

問題番号	大問	小問	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	(1)	東京とニューヨークの時差	語句記述	89	57.4%	0	0.0%	61	39.4%	5	3.2%
		(2)	世界の気候（南半球の温暖湿潤気候）	記号選択	57	36.8%	0	0.0%	98	63.2%	0	0.0%
		(3)	オーストラリアの貿易相手国の変化	記号選択	93	60.0%	0	0.0%	62	40.0%	0	0.0%
	問2	(1)	ドイツの宗教	記号選択	132	85.2%	0	0.0%	23	14.8%	0	0.0%
		(2)	コスタリカのエコツーリズム	語句記述	36	23.2%	0	0.0%	88	56.8%	31	20.0%
		(3)	ヨーロッパの農業（食料自給率）	記号選択	69	44.5%	0	0.0%	86	55.5%	0	0.0%
	問3	(1)	地形の特色（リアス海岸と砂浜海岸）	記号選択	137	88.4%	0	0.0%	18	11.6%	0	0.0%
		(2)A	移住（Uターン）	語句記述	153	98.7%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%
		(2)B	移住（Iターン）	語句記述	146	94.2%	0	0.0%	9	5.8%	0	0.0%
		(3)	日本の農業（果樹栽培）	記号選択	111	71.6%	0	0.0%	44	28.4%	0	0.0%
(4)		日本の地形（フォッサマグナ）	語句記述	107	69.0%	0	0.0%	45	29.0%	3	1.9%	
(5)①		地形図上の距離	語句記述	105	67.7%	0	0.0%	49	31.6%	1	0.6%	
(5)②		防災（防災への備え・自然災害伝承碑）	説明	64	41.3%	31	20.0%	55	35.5%	5	3.2%	
問題2	問1	(1)①	奈良時代の天皇（聖武天皇）	語句記述	128	82.6%	0	0.0%	26	16.8%	1	0.6%
		(1)②	平安時代の都（平安京）	語句記述	101	65.2%	0	0.0%	49	31.6%	5	3.2%
		(1)③	時代区分（中世に該当するもの）	記号選択	68	43.9%	0	0.0%	83	53.5%	4	2.6%
		(2)	城下町の特徴	説明	3	1.9%	8	5.2%	134	86.5%	10	6.5%
		(3)	松平定信の改革（寛政の改革）	記号選択	58	37.4%	0	0.0%	96	61.9%	1	0.6%
		(4)	蝦夷地や北海道に関するできごと	記号選択	40	25.8%	0	0.0%	114	73.5%	1	0.6%
	問2	(1)A	原爆の落とされた都道府県	並べ替え	138	89.0%	0	0.0%	14	9.0%	3	1.9%
		(1)B	太平洋戦争中の空襲	記号選択	73	47.1%	0	0.0%	79	51.0%	3	1.9%
		(2)①	アメリカの様子（南北戦争とリンカン）	記号選択	92	59.4%	0	0.0%	62	40.0%	1	0.6%
		(2)②	大正デモクラシーの影響	記号選択	115	74.2%	0	0.0%	39	25.2%	1	0.6%
		(2)③	軍縮（ワシントン会議、パリ会議）	記号選択	115	74.2%	0	0.0%	39	25.2%	1	0.6%
		(3)①	戦後の日本のできごと（日ソ共同宣言）	記号選択	100	64.5%	0	0.0%	54	34.8%	1	0.6%
		(3)②	戦後の日本のできごと（文化）	並べ替え	97	62.6%	0	0.0%	57	36.8%	1	0.6%
問題3	問1	(1)	自由権	記号選択	135	87.1%	0	0.0%	19	12.3%	1	0.6%
		(2)	比例代表制（ドント式）	語句記述	114	73.5%	0	0.0%	35	22.6%	6	3.9%
		(3)	需要と供給	記号選択	83	53.5%	0	0.0%	71	45.8%	1	0.6%
		(4)	女性の社会進出（保育施設等の整備）	説明	90	58.1%	16	10.3%	44	28.4%	5	3.2%
		(5)①	SDGsの目標（貧困をなくそう）	記号選択	149	96.1%	0	0.0%	6	3.9%	0	0.0%
		(5)②	SDGsの目標（つくる責任、使う責任）	記号選択	129	83.2%	0	0.0%	26	16.8%	0	0.0%
		(5)③	SDGsの目標（ジェンダー平等）	記号選択	151	97.4%	0	0.0%	4	2.6%	0	0.0%
		(6)	貿易（為替相場の変化）	記号選択	101	65.2%	0	0.0%	53	34.2%	1	0.6%
	問2	(1)	企業の社会的責任	記号選択	101	65.2%	0	0.0%	54	34.8%	0	0.0%
		(2)	日本の社会保障制度（負担とサービス）	記号選択	117	75.5%	0	0.0%	37	23.9%	1	0.6%
	問3	(1)	人の支配と法の支配	語句記述	128	82.6%	0	0.0%	25	16.1%	2	1.3%
		(2)	憲法改正の手続き	記号選択	109	70.3%	0	0.0%	45	29.0%	1	0.6%
		(3)番号	裁判員制度	記号選択	124	80.0%	0	0.0%	27	17.4%	4	2.6%
		(3)語句		語句記述	106	68.4%	0	0.0%	43	27.7%	6	3.9%

令和5年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：155）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	150	96.8%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%
		(2) 分数の計算（異符号の商）	計算	150	96.8%	0	0.0%	5	3.2%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	135	87.1%	0	0.0%	18	11.6%	2	1.3%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	138	89.0%	0	0.0%	17	11.0%	0	0.0%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	129	83.2%	0	0.0%	24	15.5%	2	1.3%
	問2	因数分解	計算	144	92.9%	0	0.0%	9	5.8%	2	1.3%
	問3	2次方程式（解の公式）	計算	121	78.1%	0	0.0%	30	19.4%	4	2.6%
	問4	関数 $y=ax^2$ の変化の割合	計算	112	72.3%	0	0.0%	38	24.5%	5	3.2%
	問5	円周角・中心角	計算	126	81.3%	0	0.0%	28	18.1%	1	0.6%
	問6	確率（玉の目の和・約数）	計算	94	60.6%	1	0.6%	53	34.2%	7	4.5%
	問7	素因数分解	計算	50	32.3%	0	0.0%	73	47.1%	32	20.6%
	問8	(1) 文字式の利用【証明】	立式	90	58.1%	0	0.0%	59	38.1%	6	3.9%
		(2) 文字式の利用【証明】 【記述】	記述	44	28.4%	0	0.0%	67	43.2%	44	28.4%
	問9	作図	作図	55	35.5%	4	2.6%	85	54.8%	11	7.1%
問10	(1) 三角形の合同条件【証明】 【選択】	選択	111	71.6%	0	0.0%	43	27.7%	1	0.6%	
	(2) 三角形の合同条件【証明】 【選択】	選択	114	73.5%	0	0.0%	40	25.8%	1	0.6%	
	(3) 三角形の合同条件【証明】	記述	112	72.3%	0	0.0%	40	25.8%	3	1.9%	
問題2	問1	四分位範囲	選択・計算	125	80.6%	0	0.0%	27	17.4%	3	1.9%
	問2	箱ひげ図 【選択】	選択・読取	146	94.2%	0	0.0%	9	5.8%	0	0.0%
	問3	(1) ヒストグラム 【選択】	選択・読取	114	73.5%	0	0.0%	39	25.2%	2	1.3%
		(2) 相対度数 【選択】	選択・計算	108	69.7%	0	0.0%	36	23.2%	11	7.1%
(3) 平均値		計算	94	60.6%	0	0.0%	42	27.1%	19	12.3%	
問題3	問1	道のり 速さ 時間	計算	120	77.4%	0	0.0%	31	20.0%	4	2.6%
	問2	(1) 連立方程式	立式	84	54.2%	24	15.5%	26	16.8%	21	13.5%
		(2) 連立方程式	計算	71	45.8%	0	0.0%	53	34.2%	31	20.0%
		(3) 一次関数	グラフ活用	93	60.0%	0	0.0%	29	18.7%	33	21.3%
		(4) 一次関数 【思考力】	立式・計算	10	6.5%	0	0.0%	82	52.9%	63	40.6%
問題4	問1	三平方の定理	計算	120	77.4%	0	0.0%	32	20.6%	3	1.9%
	問2	三角形の相似	計算	8	5.2%	0	0.0%	125	80.6%	22	14.2%
	問3	(1) おうぎ形、中点連結定理	計算	19	12.3%	0	0.0%	83	53.5%	53	34.2%
		(2) 三平方の定理 【思考力】	計算	10	6.5%	0	0.0%	70	45.2%	75	48.4%
問題5	問1	(1)×2 三角形の面積	計算	94	60.6%	0	0.0%	42	27.1%	19	12.3%
		(1)×6 三角形の面積	計算	96	61.9%	0	0.0%	39	25.2%	20	12.9%
		(2) 2変数の関係を立式（三角形の面積、放物線）	立式	64	41.3%	0	0.0%	51	32.9%	40	25.8%
		(3) グラフ（いろいろな関数） 【選択】	選択	75	48.4%	0	0.0%	68	43.9%	12	7.7%
	問2	ア 文字式（立式）	立式	49	31.6%	0	0.0%	61	39.4%	45	29.0%
		イ 文字式（立式）	立式	36	23.2%	0	0.0%	67	43.2%	52	33.5%
		ウ 2変数の関係を立式（面積、一次関数）	立式	20	12.9%	0	0.0%	50	32.3%	85	54.8%
	問3	総合問題【思考力】	応用	10	6.5%	0	0.0%	63	40.6%	82	52.9%

令和5年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】（答案数：155）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	顕微鏡の見え方	選択 記号選択	74	47.7%	0	0.0%	79	51.0%	2	1.3%
	問2	細胞の違いをベン図で整理	記述 作図	46	29.7%	0	0.0%	101	65.2%	8	5.2%
	問3	根・茎・葉の道管の場所	選択 記号選択	79	51.0%	0	0.0%	76	49.0%	0	0.0%
	問4	蒸散量を求める	選択 記号選択	56	36.1%	0	0.0%	98	63.2%	1	0.6%
	問5	蒸散が盛んな理由を説明	記述 説明	105	67.7%	6	3.9%	39	25.2%	5	3.2%
問題2	問1	中和について理解	記述 語句	141	91.0%	0	0.0%	9	5.8%	5	3.2%
	問2	塩について化学式で表す	記述 化学式等	86	55.5%	0	0.0%	55	35.5%	14	9.0%
	問3	イオンのモデルで水溶液の性質を考える	選択 記号選択	79	51.0%	0	0.0%	76	49.0%	0	0.0%
	問4	塩の質量をグラフに作図	記述 作図	41	26.5%	1	0.6%	110	71.0%	3	1.9%
	問5	イオン量の変化を理解	選択 記号選択	79	51.0%	0	0.0%	76	49.0%	0	0.0%
問題3	問1	斜面を下る小球の平均の速さ	記述 計算	88	56.8%	0	0.0%	65	41.9%	2	1.3%
	問2	斜面を下る小球の時間と速さの関係	選択 記号選択	61	39.4%	0	0.0%	94	60.6%	0	0.0%
	問3	等速直線運動について理解	記述 語句	139	89.7%	0	0.0%	15	9.7%	1	0.6%
	問4	小球にはたらく斜面からの垂直抗力	記述 作図	51	32.9%	0	0.0%	99	63.9%	5	3.2%
	問5	傾きを変化させたときの小球の運動	選択 記号選択	62	40.0%	0	0.0%	93	60.0%	0	0.0%
問題4	問1	凝灰岩ができた時代に起こった出来事	選択 記号選択	139	89.7%	0	0.0%	16	10.3%	0	0.0%
	問2	柱状図から地層の傾きを判断	選択 記号選択	65	41.9%	0	0.0%	90	58.1%	0	0.0%
	問3	示相化石であるサンゴについて理解	選択 記号選択	128	82.6%	0	0.0%	27	17.4%	0	0.0%
	問4	水深が深くなっていったことを説明	記述 説明	28	18.1%	5	3.2%	94	60.6%	28	18.1%
	問5	凝灰岩の層の深さを判断	選択 記号選択	64	41.3%	0	0.0%	90	58.1%	1	0.6%
問題5	問1	エンドウが遺伝の実験に適している理由	選択 記号選択	94	60.6%	0	0.0%	61	39.4%	0	0.0%
	問2	子の染色体と遺伝子の組み合わせを理解	選択 記号選択	136	87.7%	0	0.0%	17	11.0%	2	1.3%
	問3	顕性性質について理解	記述 語句	128	82.6%	0	0.0%	22	14.2%	5	3.2%
	問4	孫の顕性性質の個体の数を計算	記述 計算	92	59.4%	0	0.0%	61	39.4%	2	1.3%
	問5	選んだ個体が純系であることを判別(1)	選択 記号選択	75	48.4%	0	0.0%	79	51.0%	1	0.6%
		選んだ個体が純系であることを判別(2)	選択 記号選択	94	60.6%	0	0.0%	60	38.7%	1	0.6%
問題6	問1	質量パーセント濃度について理解	記述 計算	81	52.3%	0	0.0%	63	40.6%	11	7.1%
	問2	水素を調べる方法とその結果を理解	選択 記号選択	105	67.7%	0	0.0%	50	32.3%	0	0.0%
	問3	酸素を発生させる方法を理解	選択 記号選択	50	32.3%	0	0.0%	104	67.1%	1	0.6%
	問4	塩化水素の電離のようすを化学式	記述 化学式等	89	57.4%	2	1.3%	45	29.0%	19	12.3%
	問5	電気分解で発生する気体の量や性質	選択 記号選択	41	26.5%	0	0.0%	110	71.0%	4	2.6%
問題7	問1	音の伝わり方について理解	選択 記号選択	58	37.4%	0	0.0%	97	62.6%	0	0.0%
	問2	波形から音の振動数を求める	記述 計算	46	29.7%	0	0.0%	87	56.1%	22	14.2%
	問3	条件に合わせて波形図を作図	記述 作図	85	54.8%	0	0.0%	59	38.1%	11	7.1%
	問4	試験管笛とモノコードの関係を理解	選択 記号選択	79	51.0%	0	0.0%	74	47.7%	2	1.3%
	問5	試験管笛の振動している物体を判断	選択 記号選択	82	52.9%	0	0.0%	71	45.8%	2	1.3%
問題8	問1	フラスコに線香の煙を入れる理由	記述 説明	24	15.5%	0	0.0%	113	72.9%	18	11.6%
	問2	雲が発生するときの状態変化	選択 記号選択	86	55.5%	0	0.0%	67	43.2%	2	1.3%
	問3	フラスコ内に雲ができるしくみを理解	選択 記号選択	118	76.1%	0	0.0%	36	23.2%	1	0.6%
	問4(1)	雲の特徴について理解	選択 記号選択	120	77.4%	0	0.0%	29	18.7%	6	3.9%
	問4(2)	空気のかたまりが雲になる時の標高を求める	選択 記号選択	63	40.6%	0	0.0%	86	55.5%	6	3.9%

令和5年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：155）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	123	79.4%	0	0.0%	32	20.6%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	64	41.3%	0	0.0%	91	58.7%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	125	80.6%	0	0.0%	30	19.4%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	29	18.7%	0	0.0%	126	81.3%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	132	85.2%	0	0.0%	23	14.8%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある対話の聞き取り	記号整序	80	51.6%	0	0.0%	75	48.4%	0	0.0%
		(2)	まとまりのある対話の聞き取り	記号選択	121	78.1%	0	0.0%	34	21.9%	0	0.0%
	問4	Ques.1	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	41	26.5%	0	0.0%	93	60.0%	21	13.5%
		Ques.2	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	43	27.7%	0	0.0%	77	49.7%	35	22.6%
Ques.3		まとまりのある説明の聞き取り	英文記述	38	24.5%	8	5.2%	59	38.1%	50	32.3%	
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	129	83.2%	0	0.0%	22	14.2%	4	2.6%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	93	60.0%	0	0.0%	54	34.8%	8	5.2%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	82	52.9%	0	0.0%	65	41.9%	8	5.2%
	問2	No.1	英文中の単語補充	記号選択	69	44.5%	0	0.0%	86	55.5%	0	0.0%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	101	65.2%	0	0.0%	54	34.8%	0	0.0%
問3	語形変化及び不足語補充	英文部分記述	21	13.5%	34	21.9%	89	57.4%	11	7.1%		
問題3	問1	No.1	対話文完成(英文記述)	英文記述	65	41.9%	22	14.2%	54	34.8%	14	9.0%
		No.2	対話文完成(英文記述)	英文記述	61	39.4%	36	23.2%	46	29.7%	12	7.7%
	問2	テーマ英作文(問題と解決策)	テーマ英作文	23	14.8%	148	44.5%	38	24.5%	25	16.1%	
問題4	問1	(1)	・内容把握(英文選択)	記号選択	128	82.6%	0	0.0%	26	16.8%	1	0.6%
		(2)	・内容把握(語句選択)	記号選択	102	65.8%	0	0.0%	51	32.9%	2	1.3%
	問2	・内容把握(語句選択)	記号選択	105	67.7%	0	0.0%	48	31.0%	2	1.3%	
	問3	(1)	・内容把握(英文選択)	記号選択	137	88.4%	0	0.0%	16	10.3%	2	1.3%
		(2)	・内容把握(英文選択)	記号選択	90	58.1%	0	0.0%	63	40.6%	2	1.3%
問題5	問1	・内容把握(和文選択)	記号選択	118	76.1%	0	0.0%	37	23.9%	0	0.0%	
	問2	・内容把握(英文選択)	記号選択	102	65.8%	0	0.0%	53	34.2%	0	0.0%	
	問3	・内容把握(英文選択)	記号選択	155	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	問4	・内容把握(英語補充)	単語補充	35	22.6%	0	0.0%	108	69.7%	12	7.7%	
	問5	・内容把握(和文記述)	記号選択	44	28.4%	38	24.5%	47	30.3%	26	16.8%	
	問6	・意見英作文(英語記述)	英文記述	28	18.1%	32	20.6%	61	39.4%	34	21.9%	



## 《 国 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身についているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 説明的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、国語の学習の基礎的・基本的な言語事項について理解する力をみる問題構成とした。漢字の読み・書きに関する問題には正答率が低いものも見られたが、一方、書写、漢文の知識を問う問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。基本的な語句や文法等について、今後も継続して、正しい理解・定着に努めたい。
- 2 問題二は、文学的文章からの出題とし、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を理解する力、また、表現の効果について理解する力をみる問題構成とした。内容の理解度を問う問題については、記号選択問題では正答率が高かったが、記述問題では正答率が低かった。場面と描写に注意して、登場人物の心情や主題を読み取るとともに、それを与えられた条件に従って表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的な文章からの出題とし、論の展開・構成・内容・文脈を理解する力、また、読み取った内容を的確に説明する力をみる問題構成とした。文章の構成や展開、文脈に即して筆者の主張を的確に読み取り、記述する問題の正答率が低かった。日頃の学習の中で、説明的な文章に多く触れ、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみる問題構成とした。古文における読みの問題は正答率が低かった。内容理解に関する問題は正答率が高かったが、本文全体の内容をとらえる問題は正答率が低かった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典により一層親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、鳥取県の中学生が交流授業で、「鳥取県の魅力」について紹介するための「話し合い」の場面を設定し、話すこと・聞くことに関する力を問う問題構成とした。また、「話し合い」の中で話題となった「地域の活性化」を取り上げ、与えられた条件に従い、根拠を明確にして、自分の考えを的確に表現する力をみる問題構成とした。話すこと・聞くことに関する力を問う問題は正答率が高かった。日頃の学習の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う活動を積極的に取り入れたい。また、与えられた条件に従って、自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

## 《 社 会 》

### 【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方・考え方が身につけているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。問2(1)《ドイツの宗教》、問3(1)《地形の特色》、問3(2)《移住》のように、基礎的・基本的な知識や概念を問う問題の正答率が高かった。一方、問1(2)《温暖湿潤気候の雨温図》、問2(3)《ヨーロッパの農業》のように、南半球に位置する国の雨温図や、統計資料を正確に読みとり、国や地域的特色から正解を導き出すような形式の問題の正答率が低かった。また、問3(5)《防災》の説明問題では、「自然災害伝承碑」という地図記号に着目して、タブレットの活用や日常の生活体験も踏まえながら知識を活用する総合的な問題であったが、正答率は41%と低かった。今後も、現在の社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史を出題した。問1(1)①《奈良時代の天皇》、問2(1)A《原爆の落とされた都道府県》のように、小学校での学習もふくめ、基礎的・基本的な知識は身に付いている。一方、問1(1)③《時代区分》、問1(3)《松平定信の改革》の正答率が低く、各時代の特色を正しくつかむことや歴史的事象の内容を整理することに課題が見られる。また、問1(4)の並べ替え問題の正答率が低く、例年同様の課題があると考えられる。加えて、問1(2)の正答率が極めて低く、与えられた資料をもとに、既習事項を生かして思考・判断し説明することに大きな課題が見られる。我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら社会的事象の歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(1)《自由権》、問1(5)《SDGs》の正答率は8割を超え、問1(2)《比例代表制》、問3(2)《憲法改正の手続き》、問3(3)《裁判員制度》の正答率が7割を超えている。各校において、人権やSDGsなど現代社会の課題に対応した学習や、主権者教育を意識した学習の充実が感じられる。一方、問1(3)《需要と供給》の正答率が5割と低く、経済分野に関する基礎的・基本的な知識の定着に、引き続いて課題が見られた。今後、経済分野についての関心を高めることが重要となる。また、現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが大切であり、公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に選択・判断する力を養うことが重要である。
- 4 三分野とも、基礎的・基本的な知識や概念の習得に成果が見られた。一方、与えられた資料やグラフを正確に読み取り、習得した知識や概念を活用し表現することに課題が見られた。「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」「理解していること、できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の、育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた学習の充実が求められる。また、三分野の特質に応じた視点を生かした考察や構想(選択・判断)に向かう「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

## 《 数 学 》

### 【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身につけているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方・考え方を働かせて、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を多く出題した。概ね正答率が高く、良好な結果であった。素因数分解を活用する問7の正答率が32%、根拠を記述する問8の正答率が28%、図形の性質を考察して作図する問9の正答率が36%と課題が見られた。全体として、概ね基礎的な力がついている。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげ、全体の傾向を把握するための資料についての知識、理解を問う問題とした。概ね正答率が高く、良好な結果であった。箱ひげ図、ヒストグラムの性質及び表との関連性についての理解を確認する問2の正答率は94%、問3(1)の正答率は74%と高く、よく理解できている。
- 3 問題3は、身近な場面をとりあげ、式やグラフを用いて数理的に考察し課題を解決する力を問う問題とした。連立方程式を立て課題を解決する問2(1)、グラフから事象を読み取る問2(3)の正答率はそれぞれ54%、60%であり、一定の理解と定着がみられた。関数を用いて課題解決する問2(4)は、正答率が7%と低く、事象の変化を表す直線の式を導き出せなかったことが要因として考えられる。引き続き、文字を用いて関係を表現し、それを活用して課題を解決する力の育成が重要である。
- 4 問題4は、図形についての概念や既習の知識を活用し、見通しをもって課題を解決する力を問う問題とした。問1の正答率は77%で、三平方の定理の活用について一定の理解と定着がみられた。問2は図形の特徴を捉えられず、誤った解釈をもとに図形を考察した解答が非常に多かった。既習の図形の性質をもとに、与えられた図形を分析して問題を解く力の育成が重要である。
- 5 問題5は、図形、関数の複合的な問題に対し、数学的な見方・考え方を働かせて、多面的に課題を解決する力を問う問題とした。動点についての理解をみる問1(1)、面積の変化を関数で表す問1(2)の正答率はそれぞれ61%、41%とやや低い結果であった。変化する事象を、文字を用いて表し課題を解決する問2の正答率は23%で、難易度の高さを踏まえながらもやや低調であった。事象の変化を分析して数式化する力、多面的な観点から考察し、課題を解決する力の育成が重要である。

## 《 理 科 》

### 【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識が身についているかをみる。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身についているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。植物と動物の体のつくりとはたらきについて、知識が身についているかをみる問題である。問2のベン図を用いて観察の結果を整理する問題では、正答率が29.7%と低かった。自分の考えをわかりやすく伝えるために、表現方法を工夫し、対話を通して改善を図ったり、自らの考えを深めたりするよう指導の工夫が必要である。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液を混ぜる実験を通して、実験結果をもとに、総合的に考察する力をみる問題である。問1の中和を語句として答える問題では、正答率が91.0%と高かった。問4の実験結果をまとめた表をもとに加えたうすい硫酸の体積と沈殿した物質の質量との関係を表すグラフの作図では、正答率が26.5%と低かった。中和について、語句は答えられても、反応に応じたグラフを表すことに課題があるので、実験結果をグラフ等に整理し、データをもとに論理的に説明する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、物理分野に関する出題とした。物体にはたらく力と運動の関係を調べる実験を通して、実験結果から規則性を見いだす力をみる問題である。問2の小球が斜面上を運動しているときの、時間と速さの関係のグラフを選択する問題では、正答率が39.4%と低く、実験結果を客観的に分析して表現する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。ある地域の地層から、過去に起こった出来事を推測する力が身についているかをみる問題である。問4の水深が深くなっていったことを説明する問題では、正答率が18.1%と低かった。資料から読み取ったことと、既習の知識とを結びつけ、根拠をもとに説明することに課題が見られた。対話の場面において、根拠を明らかにして自分の考えを説明したり、説明の根拠が妥当であるかを考えながら聞いたりすることを意識させる指導の工夫が必要である。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。遺伝のしくみについて、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。遺伝における遺伝子と染色体の組み合わせについての問題では、全体的に正答率も高く、基本的事項の定着がみられた。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。電気分解によって発生する気体を調べる実験について、科学的な見方や考え方が身についているかをみる問題である。問5の電気分解で管にたまる気体の体積を比較する問題では、正答率が26.5%と低かった。既習の知識を活用して実験結果を推論することに課題が見られる。既習の知識と関連付けながら、見通しをもって観察・実験を計画、実施し、得られた結果を考察する指導の工夫が必要である。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。音の性質を調べる実験で得られた結果を、日常の場面に当てはめて考察できるかをみる問題である。モノコードと試験管笛の実験について、音源の振動数と音の高さの規則性を関連付けて考察することに課題が見られる。授業でも、観察・実験の中で見いだした規則性を、身近な事物・現象と関連付けて理解を深めるような指導の工夫が必要である。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。雲のでき方について、科学的な見方や考え方が身についているかを見る問題である。問3のフラスコ内に雲ができるしくみについての問題では、正答率が76.1%と高かった。雲のでき方について、基本的事項の定着がみられた。また、問4(2)の空気のかたまりが雲になる時の標高を求める問題では、正答率が40.6%であり、複数のデータを用いて総合的に考察する力が身につけてきていることがうかがえる。

## 《 英 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的な知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を捉え、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的话题について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 日常的话题や社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや図表なども参考にしながら、必要な情報や要点を正確に読み取る力を見る。
- 5 まとまりのある文章を読んで、本文の展開や、登場人物の行動や心情の変化などを正確に読み取る力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、具体的な情報を正確に聞き取る問題や、会話の流れを理解して話し手の心情を推測する問題では正答率が高かった。しかし、複数の情報が含まれたまとまりのある内容の英語を聞き、予定や行動を推測する問題や、聞き取った内容に適切に応答する問題では正答率が低かった。普段の授業において、まとまりのある英語を聞いて、話のあらましを聞いて理解したり、聞いて得られた情報や表現を整理・吟味し、表現する際に活用したりする言語活動の充実が求められる。
- 2 問題2の語彙や文法の知識を適切に運用する問題では、正答率が高い傾向にあった。しかし、文の中で語を適切に用いることができるかどうかをみる問題や、対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考える問題においては課題が見られた。普段の授業において、基本的な語や文法事項を理解したうえで、場面や状況に応じて文法事項等の知識を活用して話したり書いたりする活動の充実が求められる。
- 3 問題3は、日常的话题についてやり取りする際に必要となる基本的な表現や、自分の考え等をまとまりのある英語で述べる表現力（テーマ作文）をみた。授業で慣れ親しんだ表現を正確に書くことや、必要な情報を適切に表現することに課題が見られた。普段の授業において、スモールトーク等の言語活動を実施し、中間指導等を入れることで内容の充実を図るとともに、話したことを書く活動を実施し、正確な知識の定着を図ることが求められる。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、「読書に関する意識及び読書習慣」、「おおすすめのサイクリングルート」、「防災マップ」を題材とした読解問題を出題し、問1ではグラフを参考にしながら必要な情報を読み取る力、問2では複数の情報を整理・統合する力、問3では図表を参考にしながら説明資料を正確に読み取る力をみた。全体的に正答率が高く、文章の構成や書き手の意図を意識しながら読み取ることは概ねできており、学習指導要領の趣旨を理解した授業改善が進んでいるように思われる。引き続き、実際のコミュニケーション場面を意識した言語活動を実施することが重要である。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、中学生のなおきさんが、梨農家で実習生として働くトムさんとの交流を通して自己理解を深めていく物語を題材に、本文の展開や登場人物の心情を理解する力をみた。特定の段落や複数の段落の内容をもとに、登場人物の様子や心情を読み取る設問では高い正答率であったが、文章の概要把握に基づいて主人公の心情の変化を日本語で説明したり、自分の考えを英語で表現したりすることに課題がみられた。普段の授業において、対話をとおしてさらに深い理解を促したり、読み取った内容やそれについての自分の考えを英語で表現したりする活動が求められる。